

NEWS RELEASE

2026年10月27日
ジョルダン株式会社
養老鉄道株式会社

「いびがわマラソン2026」参加・応援に！ 養老鉄道「開催記念往復きっぷ」をモバイルチケットで販売開始

ジョルダン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤俊和、以下「ジョルダン」）と、養老鉄道株式会社（本社：岐阜県大垣市、代表取締役社長：宗藤洋、以下「養老鉄道」）は、10月27日（火）より、「いびがわマラソン2026開催記念往復きっぷ」を、モバイルチケット（※）で販売します。

「いびがわマラソン2026開催記念往復きっぷ」は、11月8日（日）に開催される「いびがわマラソン2026」に合わせた期間限定の往復きっぷです。マラソン開催日を含む2日間（11月7日（土）・8日（日）、または11月8日（日）・9日（月））で利用でき、スマートフォンから事前に購入できます。

参加者の利用が多い大垣駅～揖斐駅間の往復きっぷとすることで、復路の乗車券を改めて購入する必要がなく、マラソン参加者の移動をより便利にします。また、参加者だけでなく、応援で訪れる方も利用できます。

モバイルチケットでは、今回の「いびがわマラソン2026開催記念往復きっぷ」に加え、養老鉄道の養老線全線が1日乗り放題となる「養老鉄道1日フリーきっぷ」や、スマートフォンから購入できる「養老鉄道 通勤・通学定期券」も好評販売中です。

ジョルダンと養老鉄道は、今後も多くの方にとって便利で安全・安心な移動の実現に貢献していきます。

詳細は別紙のとおりです。



※モバイルチケット…ジョルダンが経路検索サービス「乗換案内」アプリにて提供している、スマートフォンで購入してそのまま利用できるチケットサービス。

＜本件に関するお問合せ先＞

法人の方からのお問合せ先

ジョルダン株式会社
マーケティング部 梶川/齊藤（尚）
E-mail：biz-info@jorudan.co.jp

報道関係の方からのお問合せ先

ジョルダン株式会社
広報グループ 前川（侑）
TEL：03-5369-4051
FAX：03-5369-4057
E-mail：press@jorudan.co.jp

別紙

■「いびがわマラソン2026開催記念往復きっぷ」概要

養老鉄道の大垣駅～揖斐駅間を往復できる乗車券です。いびがわマラソンの参加者や応援に訪れる方も利用できます。

※途中下車はできません。

販売期間: 2026年10月27日(火)～11月8日(日) 13:00

利用期間: 2026年11月7日(土)～11月9日(月)

※いびがわマラソン開催日を含む2日間(11月7日(土)・8日(日)、または11月8日(日)・9日(月))のいずれかで利用できます。

価格(税込): 大人 840円

チケット詳細ページ:

<https://ticket.iorudan.co.jp/yororailway/ja/>

参考

■いびがわマラソンについて

「いびがわマラソン」は、1988年(昭和63年)から続く、岐阜県揖斐川町で開催される秋の一大イベントです。美しい揖斐川沿いや紅葉に染まる山々を眺めながら走るコースが特徴で、地域の温かいおもてなしや沿道の応援も魅力の一つです。全国から多くのランナーが参加し、2026年は11月8日(日)に開催されます。

公式サイト: <https://ibigawa-marathon.jp/>

■ジョルダンについて

1979年12月に設立したジョルダンは、「乗換案内」を中心とするソフトウェア開発や携帯コンテンツ事業を軸に、旅行業などのビジネスを展開し組み合わせることで、「移動に関する No.1 ICT カンパニー」としての地位を確立することを経営戦略として掲げています。また、ジョルダンの主要サービスである「乗換案内」のスマートフォンアプリは累計5,500 万ダウンロードを超え、多くのユーザーの「移動」をサポートしています。

■養老鉄道について

養老鉄道は、三重県桑名市と岐阜県揖斐川町を結んでおり、沿線には歴史・自然・温泉など多彩な観光スポットが点在しています。岐阜県側には、県を代表する名瀑・養老の滝や、広大な敷地に四季折々の自然が広がる養老公園があり、散策や自然観光を楽しむことができます。また、三重県側には、上げ馬神事で知られる多度神社や歴史情緒あふれる街並みが残るエリアもあり、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

養老鉄道 対象路線図



以上